

団体名	琉球大学						
事業名	SDGsグローバルリーダーシップ地域交流事業						
実施期間	令和2年11月15日-令和3年1月30日						
場 所	伊江村、南城市、琉球大学						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	15	16	4	54	21	95	205名

<実施内容>

本事業は、琉球大学留学生の短期受入「グローバルリーダーシッププログラム」によるSDGs(持続可能な開発目標)課題解決活動を通じた留学生と地域との交流促進を目的とし、SDGsの中でも特に4)質の高い教育、8)労働環境と経済成長といった島嶼地域としての沖縄が避けて通れない課題について、留学生の多様な視点を活用し、離島とのオンライングローバル教育、地域振興のための持続的観光マネジメント・モニタリングを実施しました。

留学生のニライウエト・エシロング・ヴァンダムさん(パラオ共和国)、アナ・ワリゴダさん(ブラジル)、加えて現地からのオンラインでレイン・アパンティ・ナダブダブさん(インドネシア)、ファン・ジュンジェさん(台湾)、元留学生のケリー・ロレッニジさん(マーシャル諸島共和国)、サーストン・ロヤックさん(マーシャル諸島共和国)が参加し、伊江島での伊江中学校生徒とのオンライングローバル交流、伊江島と南城市での観光モニタリング研修を行いました。

研修終了後、南城市役所会議室にてオンラインの併用で、南城市職員、南城市観光協会、南城市インバウンド事業関係者、香港理工大学関係者等に対し、今回の活動の成果発表を行い、グローバルスタンダードを満たす持続可能な観光に向けて、外国人としての的確な評価、指摘のみならず、本国との比較に立脚した事業交流の可能性についても展望が述べられ、活発な意見交換と共に、南城市観光協会の方からは留学生の指摘に基づく改善への取り組みがいち早く着手されるなど、有益かつ持続可能な地域交流・貢献となりました。また、琉球大学のSDGs教育取り組みの一環として、学内のシンポジウムでも成果報告がなされ、今後地域交流活動を継続していく西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト(NS2BP)へのオンデマンドプレゼンテーションも実施され、来年度の取組に向けての情報共有を図りました。

この事業の実施により、教育機会の不均衡にあえぐ離島地域に、グローバル意識向上のための安定的かつ多様な教育リソース提供の可能性が確認され、観光の持続的グローバル化についての課題発見、ソリューション開発の展望も見出され、沖縄県の教育、経済の振興にとって大きな波及効果をが期待されます。

<記録写真>



伊江島オンライングローバル交流



奥武島ビーチクリーン



オンライン報告会の様子

<参加者からのコメント>

エシ・ニライウエトさん(パラオ共和国)/Esi Ngraiwet

ケリー・ロレッニジさん(マーシャル諸島共和国)/Kelly Lorennij

本研修はとても素晴らしい機会となりました。伊江島では中学生との交流が充実していましたし、島の有名な山を背景にした宿泊施設がとても魅力的でした。南城市でも、沖縄で最も美しいのではないかと息をのむほどのオーシャンビューを望むことができました。イチゴ狩り体験、奥武島史跡探訪やビーチクリーンといった充実した企画に加えマインドフルネス体験では心からの至福を得ることができました。名所の背後にあるストーリーの英語化、身体の大きな外国人に対応する柔軟なサービスがビーチライドにあった方がよいなどの指摘はしましたが、全体として現地の方々の温かさも含め、人生において最高の瞬間であったことは間違いありません。本研修を企画してくれたすべての人に感謝申し上げます。

伊江島と南城市は島んちゆぬ宝の代表です。中島財団によって提供されたこの機会において私は2つの重要なことに気づかされました。一つ目は、両観光地とも、観光客に対し先進的な情報発信を行っていることです。QRコードを通じて地域のWebサイトに簡単にアクセスでき、有益な情報が得られます。二つ目は、両地域とも地域文化を大切にしており、その魅力を最大限に観光に生かしているということです。私たち外国人の役割として、案内の外国語表記の必要性等を指摘しましたが、革新的な観光の在り方等、我々も学ぶところが多く、大変貴重な機会となりました。ありがとうございました。